

(資料1：説明資料)

報告(1) 地域の現状について

# 地域の現状シート

村上・荒川・神林・朝日・山北地域

# 村上地域

人口 25,680人（年少人口 2,597人、生産年齢人口 13,555人、老年人口 9,528人）  
高齢化率 37.1%、世帯数 10,761、行政区数 111

※令和3年6月1日現在

## 現状課題

### 困っていること、充実していること

#### 【困っていること】

- ・ 少子・高齢化への対応
- ・ コロナ禍における地域活動の低迷

#### 【充実していること】

- ・ 県北の城下町 鮭・酒・情のまち 村上は、風光明媚な自然環境に恵まれ、歴史・伝統文化の宝がある



重要無形民俗文化財 村上祭の屋台行事

## 取組

### 実施してきたこと

- ・ 地域の目指すべき目標や解決すべき課題を住民と共有し、市民協働のまちづくりを推進

【部会単位】「環境整備」「伝統文化」「生活安心」「地域活性」の4部会により課題解決を図る事業を推進

- ・ 町内の活動を支援

【補助制度】配分ではなく、理念・将来像を実現するための活動支援

- ・ 元気づくりの事業 [元気づくりプロジェクト事業]

各種団体と連携した地域全体の活性化推進事業

村上地域まちづくり協議会でしかできない夢を実現する事業



元気づくりプロジェクト事業 M・C・D・P  
「お城山フェスティバル」  
令和元年6月8日・9日

### 将来、実施したいこと

- ・ 地域の魅力を活かし、若者が活躍できるまちづくり（「温故創新」の心を大事に！）
- ・ 城下町村上の伝統文化を継承しながら、観光振興を推進するまちづくり
- ・ 関係人口、交流人口の強化
- ・ 小規模多機能自治によるまちづくりの研究

# 荒川地域

人口 9,757人（年少人口 988人、生産年齢人口 5,202人、老年人口 3,567人）  
高齢化率 36.6%、世帯数 3,702、行政区数 31

※令和3年6月1日現在

## 現状課題

### 困っていること、充実していること

- ・小規模集落では、子どもが少なくなり、集落の伝統行事やイベントなど運営が困難になっているが、集落内での人と人とのつながりは強い。助け合いの精神がある。
- ・大規模集落では、子どもも若者もまだそれなりにいて、他の地区から移り住んできた人もおり、少子高齢化の危機感はそれほどない。地域のしがらみが少ない。
- ・どの集落からも車で約10分程度のところにスーパーや病院があり生活が便利。
- ・荒川地区で観光名所やイベントが少なく地域ブランド化が課題。

## 取組

### 実施してきたこと

- ・住民主体のまちづくりを推進する活動拠点の整備  
⇒つどい場「あら、ほっ」
- ・自らの発想で自主的にまちづくりを進める団体の育成⇒あらかわみらいファンド助成事業
- ・荒川地区の特性を生かした地域ブランド化  
⇒ラベンダー栽培、あらかわスイーツプロジェクト



▲つどい場「あら、ほっ」



▼ラベンダー畑

### 将来、実施したいこと

- ・地域ぐるみで人を育てる取り組み  
⇒昨年度から実施している産官学連携によるSDGs事業
- ・地域の声や情報を集約・共有し、支え合う仕組みづくり  
⇒互近所ささえ～る隊との連携など



▲第1回新潟SDGs  
アワード大賞を受賞

# 神林地域

人口 8,314人（年少人口 799人、生産年齢人口 4,236人、老年人口 3,279人）  
高齢化率 39.4%、世帯数 2,889、行政区数 40

※令和3年6月1日現在

## 現状課題

### 困っていること、充実していること

△人口減少…少子高齢化社会と担い手不足。

○まちづくり事業を地域全体や各集落で行うことにより、新たな活性化や、助け合いの意識が向上したと感じる。

△：困っていること ○：充実していること



▼お幕場クリーン作戦  
「白砂青松100選：砂山まち協」

## 取組

### 実施してきたこと

○神林地域には五つのまちづくり協議会がありそれぞれ特色のある取組を行い、賑わいと、地域の一体感と信頼関係が醸成されて来た。

○神林地域五つのまちづくり協議会では、人口減少・少子高齢化に伴い「神林地域関係人口創出事業実行委員会」を立ち上げ進めている。



▼関係人口パネルディスカッション  
「未来の“かみはやし”をどうデザインしますか？」

### 将来、実施したいこと

○関係人口として各集落に定着と、見過ごされていた地域資源・食、歴史や文化の発掘などを情報発信し魅力ある地域へと、未来へ存続できる地域づくりを目指します。

○さらに地域の課題解決と支え合いの仕組み作りを行い、この地域に住み続けたいと思える地域づくりを目指します。



▼Instagramによる広報活動  
「かみはやしPRチラシ」

## 現状課題

### 困っていること、充実していること

- ・各まちづくり協議会で親睦を図るためのイベント等の事業
- ・次の担い手・役員の確保が困難
- ・事業に若者を含め多くの住民が参加していない
- ・事業のマンネリ化

#### 深掘りするテーマ

- 1.なぜ役員のなり手がいないのか？
- 2.なぜ若手・住民は参加しないのか？
- 3.なぜ事業はマンネリ化しているのか？
- 4.なぜまち協の認知が高まらないのか？
- 5.目標と現状のギャップを埋めるために  
▼研修会での現状把握など

## 取組

### 実施してきたこと

- ・まちづくり協議会間の交流および事業出張参加
- ・集落座談会などの地域課題への取り組み
- ・住民からのニーズ把握への取り組み
- ・5つのまちづくり協議会役員の研修会



### 将来、実施したいこと

- ・5つのまちづくり協議会合同で取り組む事業
- ・地域課題（座談会等がない地域）への取り組み
- ・子ども・子育て支援に関すること



## 現状 課題

### 困っていること、充実していること

- ・平成元年から取り組む地域の魅力を活かしたコミュニティ活動
- ・市内で最も進んだ少子高齢化に伴う担い手不足
- ・自治活動やコミュニティ活動の維持継続や日々の暮らしへの不安



## 取組

### 実施してきたこと

- ・地域の資源を活かしたコミュニティ活動や課題解決の活動を支援
- ・地域内で地域づくりを進める団体等の活動を支援
- ・地域を担う子どもたちに地域を学ぶための取り組みを支援
- ・地域外の方に関心、関与を持っていただくための事業を実施



### 将来、実施したいこと

- ・まちづくり協議会の場を活かした団体や地域が連携共有できる場づくり
- ・地域内の団体や地域などの相互の支え合いによる取り組みの実現
- ・団体や地域が主体となったまちづくり協議会の自立